

シンポジウム「四国の新幹線実現を目指して」

平成 28 年 5 月 19 日(木)13:30~16:30

高知市文化プラザかるぽーと 大ホール

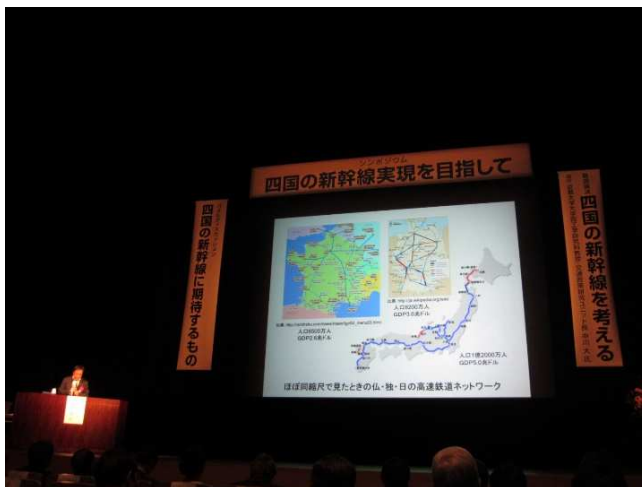
○「四国の新幹線」ロゴマーク発表

ロゴマークは高松市の美馬成治さんの作品に決定し、会場で発表されました。



○基調講演

基調講演では、京都大学大学院工学研究科の中川大教授が、「四国の新幹線を考える」と題し、「20 万人超の都市には新幹線は基礎的なインフラである」「整備新幹線を取り巻く環境の変化を認識し、少しでも早く便益をもたらすようスピード感を持った取り組みが重要である」などと講演されました。



○パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、昨年金沢まで開業した北陸新幹線の観光振興・経済効果が紹介されるとともに、時間短縮による経済や観光の活性化が期待できることや、四国が一つになってアクションを起こすことの重要性など、活発な議論がなされました。

コーディネーター：中川 大 氏（京都大学大学院工学研究科教授）

パネリスト：尾崎 正直 氏（高知県知事）

小林 亜紀代 氏（(株)tabi.info 代表取締役）

八田 誠 氏（金沢市経済局 局長）

福島 明子 氏（四国大学経営情報学部メディア情報学科講師）

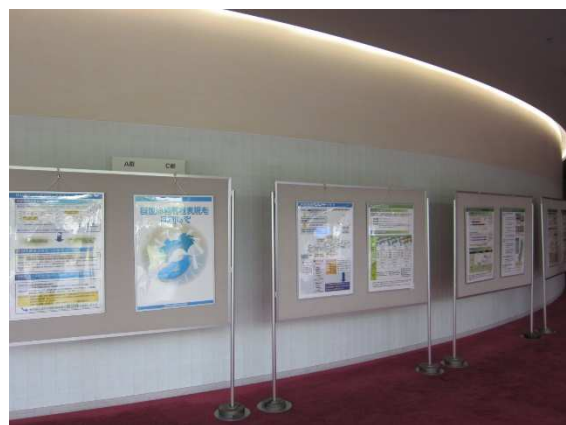
古川 康造 氏（高松丸亀町商店街振興組合理事長）

横山 公大 氏（(株)土佐御苑取締役・高知県観光大使）



○会場ロビー

会場ロビーでは、四国の新幹線ロゴマークの入賞作品の展示や、四国の新幹線実現に関するパネル展示が行われました。



※詳細は後日掲載します。